



全被造界のいのちを心にかけて

2021年5月

修道会リーダーシップは次の総会まで
修道会内での対話と分かち合いの機会を提供し続けます。

2019 総会の決意

私たちの家には、一人ひとり、分かち合う心があるから違うのです。

By Patty Johnson, CSJ 修道会リーダーシップチーム



「このことは、CSJ としての 55 年間に私たちが経験した様々なことがらを試みたことよりも、私たちのスピリットに影響を与え、導いてくれたと思います。」その結果、「心からの分かち合いは、本会にどのような影響を与えますか」という質問に
応えて、分かち合われたこと一つ書きました。

2021年1月下旬から、日本、アメリカ、ペルー、チリから約450人の姉妹とACOFが、心と家の秩序を共有するという伝統的なCSJの実践に関するオリエンテーション・セッションに登録し、参加しました。参加者たちは、実践的な専門知識を惜しみなく共有

しました。そして、共通の理解練習のためビデオを2本見ました([パート1](#)と[パート2](#)を[見てください](#))。ビデオを見て会話した後、多様なコメントを聞きました。「心の分かち合いが何であるか知っていたが、不可欠な部分、家の秩序を理解していなかった」という多様性でした。オリエンテーション・セッションに続いて、65のグループが結成され、四旬節の間、毎週分かち合いのセッションをもちました。管区を超え会全体の姉妹と ACOF は、分かち合いを通して団結していきました。会全体の共有を可能にするため、スペイン語グループ2組、スペイン語/英語グループ4組、バイリンガル日本語/英語グループ1組を設定しました。

共有に関する典型的なコメントは以下のとおりです。

- 異なる管区の姉妹たちと私たちの心の出会い、そして物語を共有することは非常に充実したものでした。
- 姉妹と仲間を新しい方法でより深く理解し、共有することができました。
- 私/私たちの中で、神がどのように働きかけているかを話し合う実践は、自分の行動と神の働きかけを意識するのに役立ち、神との関係を深めました。
- 分かち合いは深淵であり、会全体の人々と新しい絆を築きました。
- 他の方法では得られないかも知れない奉献された男性と女性のコミュニケーションが用意されました。
- 私たちは生活の中で神の働きに対する意識に成長したと思います。分かち合いの過程で私たちは互いに近づき成長しました。

多数のグループは、心の分かち合いを毎月続けようと決意しました。他のグループは待降節や四旬節にそのプロセスを繰り返すことを望んでいると述べました。委員会は、このような事柄に対応する最善の方法を検討しています。

この経験はもともと、2019年の総会指針に対する応答で本会集会委員会によって提案され、シスターアン・デイビス、シスターリンダ・マークウェイ、シスターメリー・マクグローン、シスタークリス・ポロガ、シスターキャロリン・プッチョ、シスターキャスリーン・パトリス・サリバンで構成される委員会によって計画され、実行されました。本会企画コーディネーターローレン・克蘭シーは、優れた技術と組織編成を担当してくださいました。

次の進展についてのニュースを期待して待ってください!